

区議会だより

発行／江戸川区議会
江戸川区中央1-4-1
ダイヤルイン 5662-6736
<http://www.gikai.city.edogawa.tokyo.jp/>

207号の 主な記事

- 第4回定例会概要、新年のあいさつ..... 1ページ
- 区長提出議案、議員提出議案、請願・陳情の処理状況.... 2ページ
- 代表質問、一般質問..... 3～5ページ
- 江戸川区議会会派別議員一覧 6ページ

第4回定例会日程

11月29日	議案上程、委員会付託
12月3日	代表質問
4日	一般質問
5日	議案審査
6日	請願・陳情等の審査
11日	委員会報告及び表決

平成24年第4回定例会

補正予算を含む議案23件を可決

「固定資産税及び都市計画税の減免措置の継続に関する意見書」を含む意見書3件を関係機関に提出

平成24年第4回定例会は11月29日から12月11日までの13日間の会期で開かれました。

この定例会には区長から、生活保護費の増額や新公会計制度導入に伴う事務経費などを計上した補正予算を含む議案23件と報告2件が提出されました。

これらの議案はいずれも原案のとおり可決されました。

また、議員から「固定資産税及び都市計画税の減免措置の継続に関する意見書」を含む3件の議案が提出され、それぞれ可決されました。意見書は関係機関に送付しました。

この定例会の会議録は、2月中旬にできあがります。詳細は、区議会ホームページ、お近くの図書館、コミュニティ図書館、または区議会事務局をご覧ください。



干支鈴（希望の家利用者作成）

新年を迎え皆様のご健康とご多幸を心からお祈りいたします

区民の皆様には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平成25年の新春を迎え、江戸川区議会を代表し、新年のご挨拶を申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、空を見上げる機会が多くありました。区内各所で目にすることのできる東京スカイツリーの開業、日本では25年ぶりの金環日食という世紀の天文ショー、どちらも胸が躍る出来事でした。

また、世界規模での日本人の活躍に目を転じますと、ロンドンオリンピックにおいて史上最多となる38個のメダル獲得や山中伸弥京都大学教授のノーベル賞受賞など、日本人が世界で輝く姿に勇気づけられた一年であり、夢と希望を大いに感じさせられる年でありました。

しかし、リーマンショック以降の景気悪化により、依然として厳しい経済状況が続いております。本区の財政も例外ではありません。歳入の半分以上を占める特別区交付金と特別区税が平成19年度に比べ計206億円も減少している一方、歳出では生活保護費をはじめとする福祉費が359億円も増加しております。このため、さまざまな行財政改革にも取り組むと

ともに、基金を取り崩すなど健全財政の堅持に努めてきたところですが、危機的局面を打開するため、全事業を対象に、行政のスリム化や23区の中でサービス水準が特に高い事業への見直しが行われています。これらの施策の見直しの内容は、平成25年度予算案として、第1回定例会で審議してまいります。

このような苦しい状況においても、区民の皆様が安全・安心の中で住み続けることができるよう、江戸川区の明日が夢と希望に満ちあふれるまちとなるよう、全力で取り組んでまいります。

社会の動向を的確に見極め、客観性・合理性の視点の中で最善の取り組みを積み重ね、適切に行動できる江戸川区議会でありたいと思っています。

今後も区民の皆様の変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、ご健勝をお祈りして年頭のあいさつといたします。

平成25年新春

江戸川区議会

議長 島村和成
副議長 竹内すすむ

区長から出された議案

- 予算
 - 平成24年度江戸川区一般会計補正予算(第3号)
 - 生活保護費の増額や新公会計制度導入に伴う事務経費など42億879万5千円を追加し、総額2242億4268万9千円とする。
 - 平成24年度江戸川区一般会計補正予算(第4号)
 - 給与関係費6億885万円を減額し、総額2236億3383万9千円とする。
 - 平成24年度江戸川区国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
 - 国民健康保険料決定通知書等の作成等委託及び国保健診受診券等の作成等委託による債務負担行為の計上。
 - 平成24年度江戸川区国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
 - 給与関係費1355万円を減額し、総額736億7732万2千円とする。
 - 平成24年度江戸川区介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
 - 介護保険料額決定通知書等の作成等委託による債務負担行為の計上。
 - 平成24年度江戸川区後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
 - 後期高齢者医療保険料額決定通知書等の作成等委託による債務負担行為の計上。
- 条例(新規)
 - 江戸川区街づくり宅地資金貸付条例を廃止する条例
 - 平成17年度以後は貸付申込みがひと桁となり、その役割を果たしたものと判断されるため、廃止する。
 - 江戸川区診療所における専属薬剤師の配置の基準に関する条例
 - 医療法の改正に伴い、診療所における専属薬剤師の配置基準を定める。
 - 江戸川区が管理する道路の構造の技術的基準に関する条例
 - 道路法の改正に伴い、道路の路肩、歩道等の幅員及び歩道の舗装等、特別区道を新設又は改築する際の道路の構造の技術的基準を定める。
 - 江戸川区が管理する道路における道路標識の寸法に関する条例
 - 道路法の改正に伴い、特別区道に設ける案内標識、警戒標識及び補助標識の寸法を定める。
 - 江戸川区が管理する道路における移動等円滑化のために必要な道路の構造の基準に関する条例
 - 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の改正に伴い、道路を新設又は改築する際の移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める。
 - 江戸川区立公園等の移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置の基準に関する条例
 - 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の改正に伴い、特定公園施設を新設又は改築する際の移動等円滑化のために必要な構造に関する基準を定める。
- 条例(一部改正)
 - 江戸川区保育所条例 ※1
 - 社会福祉法人えどがわによる運営に移行するため、南葛西保育園を廃止する。
 - 江戸川区保育所の保育の実施に関する条例
 - 保育料について、保護者の直近の所得状況を反映したものとするため、保育料算定に用いる世帯の階層区分の定義を改める。
 - 江戸川区街づくり推進に伴う移転資金貸付条例
 - 土地区画整理事業等の街づくり事業の施行区域内又は施行区域に隣接する土地を購入する場合のみ、街づくり宅地資金貸付制度を残し、街づくり移転資金貸付の対象に組み入れる。
 - 江戸川区廃棄物の処理及び再利用に関する条例
 - 現行の廃棄物処理手数料と処理原価との間にかい離が生じているため、廃棄物処理手数料を引き上げる。
 - 江戸川区自動車駐車場条例
 - 江戸川区自転車駐車場条例
 - 道路法の改正に伴い、区が管理する特別区道に附属する自動車駐車場又は自転車駐車場に設けなければならない標識に関する基準を定める。
 - 江戸川区立公園条例
 - 都市公園法の改正に伴い、公園の敷地面積、配置の目標、公園施設の設置基準等について定めるほか、規定を整備する。
 - 江戸川区長の給料の特例に関する条例
 - 平成13年1月1日から実施している区長の給料月額を10%減額する措置について、平成25年1月1日から平成26年12月31日までの2年間引き続き行う。
 - 職員の給与に関する条例
 - 幼稚園教育職員の給与に関する条例
 - 特別区人事委員会の勧告どおり、公民較差(0.19%)の解消のための給料の額の引き下げを行う。
- 規約(一部変更)
 - 東京23区清掃協議会規約
 - 各区で行っている一般廃棄物処理業及び浄化槽清掃業の許可の事務について、事業者への配慮、事務の効率化等から、清掃協議会において共同処理するものとするため、地方自治法第252条の6の規定に基づき、議会の議決を求める。
- 報告
 - 専決処分した事件の報告
 - 江戸川区の私債権の管理に関する条例の規定に基づき、江戸川区生活一時資金貸付金及び江戸川区国民健康保険出産費資金貸付金の返済を求める訴えに係る和解について、5件の専決処分を行った。
 - 議決を得た契約の契約変更
 - 新川護岸耐震補強工事(その5)
 - 擁壁として利用する予定であった既設水管橋の基礎が一部欠損していたため、擁壁の形状を変更し、補強したこと等による増額変更。

※印は賛否の分かれた議案

※1 賛成 36(自由民主党、公明党、民主・ネット、みんなの党・一人の会、志士の会、自民党日本)

反対 4(日本共産党、えどがわ区民ひろば)

※印以外の議案は全会一致で可決

議員から出された議案

―意見書は各関係機関に送りました―

- 固定資産税及び都市計画税の減免措置の継続に関する意見書(全会一致)
 - 〔東京都知事 あて〕
 - 小規模住宅用地の都市計画税を2分の1に軽減、小規模非住宅用地の固定資産税・都市計画税を2割減額、商業地等の固定資産税・都市計画税について負担水準の上限を65%とする措置の25年度以降の継続を東京都に求める。
- 防災・減災体制再構築推進基本法(防災・減災ニューディール基本法)の制定を求める意見書
 - 賛成 27(自由民主党、公明党)
 - 反対 13(民主・ネット、日本共産党、みんなの党・一人の会、志士の会、自民党日本、えどがわ区民ひろば)
 - 〔内閣総理大臣、内閣官房長官、内閣府特命担当大臣(防災) あて〕
 - わが国の防災・減災体制を再構築するため、ハード面とソフト面の両方の施策を盛り込んだ「防災・減災体制再構築推進基本法」を早期に制定するよう国に求める。
- 次代を担う若者世代支援策を求める意見書(全会一致)
 - 〔内閣総理大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、国家戦略担当大臣 あて〕
 - 環境や医療・介護等の新成長産業分野をはじめ、産業全体における雇用創出策を集中的に行うことなどにより、国家戦略として幅広い「若者世代支援策」を実施することを国に求める。

皆さんから出された請願・陳情

● 今回の定例会で新たに委員会に付託されたもの	付託委員会名
119号 固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する陳情	総務委員会
120号 江戸川区教育委員会会議規則の見直しを考えるよう求める陳情	文教委員会
121号 区長、議会全会一致で、東北復興応援の呼びかけ声明の発表を求める陳情	総務委員会
122号 江戸川区議会Webサイトリプレイスに関する陳情	議会運営委員会
123号 江戸川区議会常任、特別委員会のWebストリーミング中継の開始の陳情	議会運営委員会
124号 江戸川区議会本会議動画配信システムリプレイスに関する陳情	議会運営委員会
125号 江戸川区議会の本会議場、委員会室に議員の電子機器持ち込み承認を求める陳情	議会運営委員会
126号 江戸川区庁舎内での区議会本会議の様態を流すモニタ設置に関する陳情	総務委員会
127号 江戸川区長に対し定例会見を求める陳情	総務委員会
128号 江戸川区議会常任、特別委員会開催掲示板リプレイスに関する陳情	総務委員会
129号 江戸川区庁舎壁面に区議会名称看板、本会議開会中を示す垂れ幕設置に関する陳情	総務委員会
130号 議会改革検討小委員会、行財政改革特別委員会に対し流山市議会の視察を求める陳情	議会運営委員会
131号 「空襲被害者等援護法(仮称)の制定を求める意見書」に関する陳情	総務委員会
132号 西篠崎区画整理組合に組合設立認可と事業認可を許可した江戸川区長に対する陳情	建設委員会
133号 江戸川区予算事務規則の適正化を求める陳情	総務委員会
134号 「江戸川区立都市公園及び江戸川区立児童遊園」の指定管理者への指定管理業務を行う職員の給与を補助金で支払うとした決定を取消すことを求める陳情	総務委員会

● 所管の委員会に参考送付となったもの	送付委員会名
117号 平成23年度(財)江戸川区環境促進事業団に対する補助金の交付は江戸川区予算事務規則により不当支出であるので決算委員会での判断を求める陳情	決算特別委員会
118号 有害物質アスベスト検出続出の女川町からの震災がれきの受入・焼却の即時中止を求める陳情書	生活振興環境委員会

● 今回の定例会で結果が出されたもの	結果
100号 熱中症から区民を救うことを求める陳情	※趣旨採択(全会一致)
119号 固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する陳情	採択(全会一致)

※ 議会としては、願意について十分理解できるものの、当分の間は願意どおりの実現は困難であるため「趣旨には賛成である」という意味の議決です。

● 今回の定例会で取り下げられたもの
73号 北朝鮮による拉致問題解決にむけての更なる啓発活動を求める陳情

平成25年第1回定例会開催予定

2月	19日(火)……………	本会議(議案上程、委員会付託)
	21日(木)……………	本会議(一般質問)
	22日(金)……………	本会議(一般質問)
	25・26・28日] 予算特別委員会
3月	1・4・5・7・11日	
	12日(火)……………	常任委員会(議案審査)
	13日(水)……………	各常任委員会(請願・陳情等の審査)
	21日(木)……………	本会議(委員会報告及び表決)

※本会議は午後1時、各委員会は午前10時開会予定です。
 ※傍聴の手続きは、本会議は開会日当日の正午以降、各委員会は開会日当日の午前8時30分以降に区議会事務局で先着順に受付をしています。
 なお、定員がありますので詳しくは区議会事務局までお問い合わせください。

区政への質問

12月3日に代表質問、4日に一般質問が行われ、活発な論議が展開されました。ここでは、質問と答弁の要旨を掲載します。

代表質問



厳しい財政状況。今こそ公平・公正を提言!

自由民主党
ふじさわ 進一

問 本区の財政問題について

- ① 216項目におよぶ施策の見直しが行われているが、地域力を掲げている本区にあって、区民・地域との合意形成をどのように図っていくのか。
- ② 収納態勢の多様化の促進や悪質滞納者対策など、歳入確保にむけた取り組みの強化を。
- ③ 超高齢化社会到来が現実感を増す中、社会保障費の伸びの増加予測に加え、歳入の不透明感がある。今後の財政課題についての区長の所見は。

答 ① 早期にさまざまな形で周知をしていく。今日の財政状況とともに、区民サービス確保のため、健全財政が必要であることを丁寧に説明していきたい。

- ② 歳入の中心である納税について、人的態勢を強化し、歳入確保にさらに力を入れていきたい。
- ③ 景気浮上が簡単には望めない中で、当面厳しい状況が続く。限りがある収入の中で、行政サービスのあり方や合理的な税の使い方を考えていく。国や都の支出金などを積極的に活用し、質の高いまちづくりをしていきたい。

問 JR小岩駅前地区再開発事業について

- ① 駅からの距離など、駐輪場の立地場所が地域の課題となっている。小岩駅前地区の大規模再開発に伴い、地下駐輪場の建設を。
- ② 小岩駅南口のにぎわいを創出し、大きな夢の持てる駅前空間の創造を期待している。駅前の区有地を活用し、今後の小岩に必要な施設の充実を。
- ③ 行政に不足するノウハウを持つ民間協力会社の存在は極めて重要である。事業協力会社の選定期間や方法、今後の予定は。

小岩駅前の再開発



- 答 ① 事業の進展にあわせ、ビルや広場等の地下に駐輪場をつくっていききたい。再開発事業組合と相談しながら検討していきたい。
- ② 地域と相談しながら場所や用途を検討していく。地域の夢や希望を最大限生かし、小岩にふさわしい施設をつくっていききたい。
- ③ 準備組合が協力事業者を選定していく。区と準備組合で相談し、12月から区ホームページで広く公募を行い、審査を重ねながら今年度末には選定していきたい。

問 今年多くの学校が周年行事を迎えた。周年行事を通じて子ども達に何を望むのか。

答 どの学校も子ども達が素晴らしい発表をしていた。発表にむけて、学校や地域の歴史・文化等を調べることによって、各学校に流れる伝統や校風等を肌で感じとってほしい。

子ども読書活動に対する支援の強化を!



公明党
田中 じゅん子

問 「子ども・子育て関連三法」の成立に関連して、「子ども・子育て支援事業計画」の策定が必要と考える。計画策定に非常に重要な役割を果たす「地方版子ども・子育て会議」の設置と子育て新システム実施に向けた予算編成を。

答 子育て新システムの内容がまだよくわかっていないので、現時点での予算化や「子ども・子育て会議」を設置して議論を行うことは難しい。国の動向を注視していきたい。

問 子ども読書活動の推進について

- ① 児童・生徒や教職員へ幅広い支援を行う「学校図書館指導員」の配置を。
- ② 本に親しみ、活用する楽しさを知り、司書としての知識等を得た子どもに「子ども司書」の認定を。
- ③ 読書の幅を広げるため、各学校図書館における図書データベース化の推進を。

答 ① 学校図書館では、司書教諭を中心に教員や地域の読書ボランティアの方々が多様な役割を担っている。来年度から指定管理者が管理する地域図書館との協力も進めている。

② 読書科は本を読むだけでなく、本の整理や読書環境づくりも含んでいる。その中で「子ども司書」に通じる要素を学んでいる。

③ 教員自ら図書館の状況を把握し、意欲を高めていくことが大切である。システム導入は難しい。

問 脱法ハーブへの対策について

- ① 区のホームページに薬物乱用防止のページを作成するなど、周知啓発の取り組みの強化を。
- ② 学校現場での取り組みや保護者・教職員に危険性を周知する取り組みの強化を。



薬物乱用防止

答 ① 区民まつりでの啓発等、さまざまな取り組みを行ってきた。ホームページ掲載も含め、地域全体で取り組みを努めていきたい。

② 具体的に危険性が理解できるようリーフレットや写真の掲示を含めて積極的に進めていきたい。

問 改修の要が生じている私道の下水道施設について、補修工事に対する助成を。

答 住民だけで対応できないのであれば、前向きに検討していきたい。

医療費助成のあり方、子ども達の読書のあり方を問う



みんなの党・一人の会
ます 秀行

問 子ども医療費助成の対象範囲を年々拡大してきた。範囲を拡大した結果を検証し、対象範囲などの適正化を。また、現在の厳しい財政状況を考慮し、自己負担の導入や助成対象

の見直しなどの考えは。

答 他区の状況にあわせて対象を拡大してきた。高校生まで範囲を拡大している区もあるが、本区は子どもが多いので常識的な範囲に収めておきたい。特別区の共通制度の中で行って、他区の状況を見ながら考えていきたい。

問 読書科と地域図書館のあり方について

- ① 新たに購入された学校図書の選定基準は。
- ② 読書科の充実には、学校図書館と地域図書館の連携強化が必要である。連携強化策として、各地域図書館に小中学校の図書業務を一括して行う「学校図書館支援窓口」の設置を。

学校図書館の充実



答 ① 司書教諭を中心に、教員全体の意見を聞きながら、学校に必要な図書を選定している。地域図書館の意見も参考にしている。

② 指定管理者導入に際して、地域図書館と学校の関わり方を調整していきたい。今後も継続して、巡回指導や具体的な情報交換等のさまざまな支援を受けて運営していきたい。

問 現在行っている事務事業の見直しは、財政上重要な要素である資産を考慮していない。見直しを行う前に、区有資産の正確な把握と整理・再活用の検討など適正な資産の運用を。

答 新公会計制度の導入により資産を正確に把握し、活用を検討していきたい。資産の売却はサービスの縮減になるので、考えていない。

問 葛西臨海公園地区は2020年にむけ都が進めるオリンピックの競技場の候補地となっている。区長は当地区の保護を優先的に考える発言をしているが、都知事の交代を受け、改めて都に明確な意思表示を。

答 考えは変わらない。来年9月のオリンピック開催地の結果を見てから対応したい。

問 上一色中橋架替工事の請負会社が、落札から約半年で自己破産し、工事が中断されている。入札時の手続きや基準に問題はなかったのか。また、今後の工事継続の見通しは。

答 入札参加資格を満たし、契約の際に履行保証保険契約も締結しており、問題はなかった。開通予定を約1年延ばさざるを得ない状況にある。分割発注などを行いながらできるだけ早く完成していきたい。

住民の目線、社会的弱者の立場に立った施策実現を



民主・ネット
新村 井玖子

問 スーパー堤防事業について

- ① 換地設計を行う際、盛り土による資産価値への影響を考慮し、住民への丁寧な説明を。
- ② 北小岩1丁目東部地区における土台部分の土質の差異をどう考えているか。
- ③ 北小岩の盛り土の安全性への見解と対策は。
- ④ 越水に有効な別の堤防強化策への切り替えを。

答 ① 盛り土をした場合、一般的には評価は高くなる。説明をする方向で調整していきたい。

② 土質を考慮し、具体的な設計をしていく。

③ 盛り土はしっかり行えば安全である。被害が起きないように、丁寧な仕事をしていきたい。

④現時点ではスーパー堤防に勝る工法はない。

障がい者就労及び支援について

- ①障がい者の特性に応じた仕事の提供を。
- ②障がい者が作った製品の販売店や喫茶コーナーなどの常設を。
- ③総合評価入札制度を導入し、障がい者等の雇用を契約締結時の評価対象としては。



障がい者就労支援

- ①就労機会拡大にむけ、研究していきたい。
- ②イベント等での販売機会を増やしていきたい。
- ③一部の業者選定では障がい者雇用も評価対象としている。今後も進めていきたい。

すすくすくスクールについて

①事業見直しによる非常勤職員削減と職員の適正配置についての区の考えは。

②クラブマネージャーの役割・報酬の検討を。

③配慮を要する児童についての今後の対応は。

①事業内容に変化はない。特別支援も含めた基準を整理し、適正に配置していきたい。

②報酬を支払っていたが、今後はボランティアとして役割を担っていただきたい。

③責任を持って預かれる範囲を見極める必要がある。配置基準等を含めて見直しをしている。

スクールソーシャルワーカーの配置を。

現時点での配置は考えていない。



見直しは応能負担で、即時原発ゼロ、放射能対策を

日本共産党
セバタ 勇

区民負担を増やす事業の見直しについて

- ①苦しい生活をさらに圧迫するつもりなのか。
- ②どのように区民への周知と理解を図るのか。
- ③スーパー堤防など大型開発の見直しを。また、大型施設改築の検討をなぜ今行うのか。
- ④学校給食費補助等の教育・福祉に関わる見直しは廃止ではなく、応能負担での再検討を。

①他自治体と同水準のサービスは維持していく。区の財政事情も理解いただきたい。

②早期にホームページ等で周知を行い、区の財政事情への理解をいただきたいと考えている。

③継続してきた事業の中断はしない。区民の負担が極力ない形で進める。大型施設改築は長期的な検討であり、今すぐは考えていない。

④施策の中身を考えながら、適切に応能負担を取り入れていく。給食費補助は、財政的にできなくなってきたことを理解いただきたい。

即時原発ゼロと放射能対策について

①即時原発ゼロに対する区長の見解は。

②再生可能な自然エネルギーへの転換を図る象徴として、住宅用太陽光パネル設置助成を。

③放射線測定器の区民への貸し出しを。

④篠崎公園のモニタリングポストは他と比べ2倍近く値が高い。子ども施設の砂場などの定期的な測定と公表を。

放射線測定



①今回の選挙の争点であり、新政権によって方向性がでてくるので、結果を待ちたい。

②国や都で普及のための助成を行っているので、区が上乗せする必要はない。

③一般の区民への貸し出しは考えていない。

④心配のない値である。値も低減傾向にあり、新たな測定の必要はない。

一般質問



整備後の緑地は住専へ。文化振興は財団設立を。

自由民主党
渡部 正明

護岸整備がされた後も堤外扱いで緑地指定が解除されず、住宅地として用途が制限されている地区がある。まちづくりの基本となる都市計画の改正は、どのように決定されていくのか。現場を抱える区が主となって、用途地域の変更要請を都に提言を。

都市計画は長期的な視点で決定している。時代の変化に即した変更もあるが、さまざまな検討の結果で決定されているので、守っていく必要もある。今回の地域主権改革では、用途地域の決定権限が都から区へ移譲されなかったため、移譲されるよう要請していく。

災害時の広域避難について

①避難を想定した段階的な避難計画をどのように策定し、区民に周知していくのか。

②都立篠崎公園や葛飾区の新小岩公園の高台化促進の要望を。

③他自治体と共用する避難場所における備蓄や避難経路の確認など、自治体間での円滑な災害対策の連携を。

①さまざまなケースがあり、対応が複雑になる。広域災害パンフレットを資料として、区民とともに災害時の地域活動を研究し、その取り組みが自らの避難行動につながるよう発展させていきたい。

②管理者の都や葛飾区と連携し、早期に高台化の実現に取り組んでいきたい。

③水害については江東五区との連携にむけた協議を始めている。本区だけで解決できない部分は国や都の力を借りて取り組んでいきたい。

現時点の学校改築計画は将来の少子化予測に基づく統廃合を考慮しているのか。また、改築と統廃合を含めた学校再編計画の公表は。

第一次計画は、建物の老朽化状況に応じて作成した。データが整い次第、少子化の影響を踏まえた第二次計画を作成していく。

江戸川区の文化振興について

①人的・経費的に厳しい運営を余儀なくされている区内の文化・音楽団体に対する支援を。

②文化活動支援のため、他自治体の文化財団を参考・検討し、設立に向けて研究を。

③点在する絵馬・古文書等の文化財の保護を。

①文化活動の場として多くの施設をつくり、援助を続けている。関係者と話し合いながら、活動しやすい条件をつくっていきたい。

②文化共育部を中心に、文化関係者とさまざまな面を調整する区の役割を強化していきたい。

③時間がかかるものであるがこれからも長い時間をかけて、文化財保護を行っていきたい。



復興支援の継続とまちづくり技術力の継承を

公明党
太田 きみひろ

技術力継承と今後の復興支援について

- ①区画整理等で蓄積してきた技術等の継承を。
- ②復興支援のための専門職員派遣への考えは。
- ③木密地域不燃化10年プロジェクトの特定整備路線である補助144号線の整備方針は。

①公共事業による質の高いまちづくり等を通じて、技術やノウハウを継承していく。

②技術職員以外の専門職も要請に応じ派遣している。今後もできる限り応援していきたい。

③都施行で平成32年完成を目標としている。地域と相談し、地区計画の策定や密集事業の導入で、防災まちづくりを推進していきたい。

災害時協力協定機関との連携について

①実効性のある災害時協力協定の取り組みを。

②指定管理者が運営する施設の震災時の対応は。

①連絡会を開催し、地域防災計画見直しの周知と連絡体制の確認を行った。

②契約条項にも含まれており、区施設と同様の対応がなされている。今後も同様に取り組んでいく。

中小零細企業対策について

①あっせん融資を扱う金融機関と連携強化を。

②創業支援策を広く周知する取り組みを。

③えどがわ産業ナビにおいて、区内外の企業と双方向で交流ができる機能の拡充を。

①今後も金融機関と情報交換していく。

②あらゆる機会に周知していきたい。

③フェイスブックを活用した相互コミュニケーション機能と検索機能の拡充を行っていく。

在宅医療における体制の充実について

①在宅医療に携わる方が情報共有できるよう医療資源情報を集約した電子マップ化の推進を。

②各団体と連携し、在宅医療相談窓口設置を。

①関係機関と連携をとり、えどがわマップの活用も含めて整備していきたい。

②関係機関と検討し、研究をしていきたい。

旧中川の今後の整備方針は。

計画した整備が今年度で完了する。快適に過ごしていただけるようになる。



学校改築・若年者雇用・自殺防止対策について

民主・ネット
えぞえ 亮一

学校改築に関する展望と対策について

①子どもの数が減少傾向にある中、学校改築の今後の展望は。

②文部科学省設置の検討会報告では学校施設老朽化対策を建て替えでなく、改修工事などによる長寿命化を基本方針としているが、長寿命化に対する考えは。

①今後、学校改築の新しい計画やデータを出していきたい。

②相当以前から、改修工事は行ってきており、大規模、中小規模あわせて毎年コンスタントに30億円の予算をかけている。

区内の若者と中小企業をマッチングさせる事業をはじめとした、中小企業支援と雇用対策

のさらなる展開を。

意欲の向上、スキルアップ、マッチングの3本柱で就労支援を行っている。産業ナビへの求人情報の掲載や就職面接会等を活用し、魅力あるマッチングを研究していきたい。

自殺対策について

①本区の昨年の自殺者数は過去10年で最多であった。さらなる自殺防止対策の考えは。

②緊急搬送先の病院との連携を深め、自殺未遂者の実態把握と継続的な支援を。

①地域や専門家を交えた自殺防止連絡協議会での意見を踏まえ、さまざまな対策に取り組んでいる。2月には複合する自殺要因に総合的に対応する相談会を予定している。

②救急医療機関との連携は検討課題としたい。



学童のおやつ継続と育成室併設で鹿本幼稚園の存続を

日本共産党 小俣 のり子

すくすくスクール内学童クラブについて

①来年度の見直しに含まれている非常勤職員削減と職員配置の見直しについて、子どもの安全と保育の質の確保のため削減中止を。

②子どもの健全育成を図るため補食の継続を。

①職員配置の適正化を図るものであり、事業内容の変更はない。②希望者も減っており、管理が難しい事業でもあるので、廃止したい。

発達障がい児について

①空白地域への育成室の計画的な設置を。

②心理相談等の専門的療育の時間の増加を。

③発達障がい児を育てる家庭・保護者の支援を。

④育成室において、就学前の5・6歳児以外の親子分離等の柔軟な対応を。

⑤鹿本幼稚園に育成室を併設し存続を。

①中央育成室の拡充で対応する。将来的には必要性に応じて、改めて対応していく。

②個別支援計画に基づき個別指導や集団療育を行っている。きめ細かく対応していきたい。

③わかりやすい相談窓口は必要である。丁寧な対応を行うため現場の研修も強化している。

④1・2歳児は親との愛着関係から対応していないが、3歳児以上は実施している。

⑤育成室と区立幼稚園の併設は考えていない。

区役所近隣に出店する大型店について

①まちの環境や商店街に与える影響と対策は。

②道路環境整備などの交通安全対策の考えは。

①地域環境が悪化しない努力をする。問題発生時には改善要求等をしていきたい。

②協議の結果、法律等の規制より2~3割多い駐車場が設置されている。状況をみながら、交通誘導も協議し、安全に留意していきたい。



郷土に誇りと愛着を持った青少年の育成を

志士の会 中津川 まさあき

地方分権について

①地方分権に対する基本的な考え方と将来の特別区のあり方についての考えは。

②議会事務局の体制を強化するため、政策立案等を支援する専門スタッフの臨時採用を。

③地域が抱える諸課題について、調査研究を行い、政策提言を行うシンクタンクの設立を。

①権限の形式的な移譲は真の地方分権ではない。特別区はまだ権限が制限されており、さらに自治権の拡充に努めなければならない。

②区議会の問題である。配置は不可能ではないが、業務内容による経費負担の問題がある。

③シンクタンクではないが、必要に応じて専門家の知恵を借り、計画等をまとめている。

教育問題について

①君が代を歌っていない教職員への対応は。

②国語力向上のため、区の民話・昔話の活用を。

③中学校における修学旅行の成果は。また、文化・精神的に近い台湾への修学旅行を。

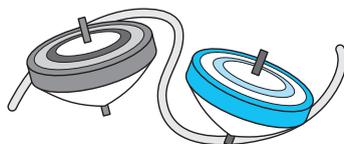
④地方自治体の教育理念を明確化し、学校運営の円滑化等を図る教育基本条例の検討を。

①卒業式等で調査しているが、適正に行われている。国旗・国歌の尊重を徹底していきたい。

②読書科の中で、区内の民話等を活用したい。

③京都や奈良において、日本の歴史や文化を学んでいる。費用等の条件から海外は難しい。

④大阪府・市の条例のように、文部科学省中心の教育行政に問題提起し、地域に密着した教育行政を行っていく視点も必要と考えている。



「財政を守る・国を守る・子どもを守る」を問う

自民党日本 須賀 清次

①区民を守るという観点から、財政危機を乗り越えるための区長の思いは。

②区民と行政が当事者意識を持ち、克服する姿を次世代に見せていかなければならない。

③国を守った苦勞に報いるため、成人式に百歳の方の特別席の設置を。

④参加してくれる元気な方もいると思うので、試みてもよいと思う。

⑤区長が願う日本の教育のあり方とは。

⑥人の生き方を教えなければならない。「育てて教えざるは親の過ち、教えて厳しからざるは師の怠り」が教育の真髄と考えている。



建物耐震助成制度のさらなる充実を

自由民主党 大西 洋平

①事業仕分けによって廃止と判定された高規格堤防だが人命を守るという見地から、見直しが行われ、江戸川区は整備区間に該当することになった。また、昨年8月に発表された都の水害対策に関する基本方針が、中川左岸堤防のさらなる強化につながると期待している。河川管理者である国や都の河川整備の認識が進展している中、今後の江戸川と中川の整備についての具体的な考えは。

②自然災害は必ずやってくる。今できること

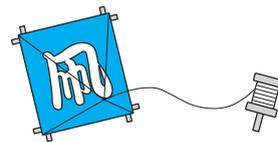
を行うことが、次世代の人達に対する責務である。江戸川の整備は、ゆるぎない決意を持ってスーパー堤防という抜本策を時間がかかろうとも積み重ねていきたい。中川については、都と具体的に検討し、早期に堤防強化についての目標を定めていきたい。

③首都直下型地震が危惧されている中で、建物の耐震化は重要である。木造借家への適用など耐震助成制度のさらなる充実を。

④2回にわたり耐震助成制度を拡大してきた。木造借家については、所有者の同意や負担等の条件があるので検討していきたい。

⑤スポーツを観光振興に活用するスポーツツーリズムは、地域振興や消費の拡大に効果があるとされている。2013年には東京国体も開催される。本区の充実したスポーツ文化、施設を活用し、あらゆる角度から地域発展のための取り組みを。

⑥スポーツを通じたさまざまな取り組みで地域をにぎやかにし、活性化できる。これからもさまざまな努力をしていきたい。



教育振興基本計画の策定をヘルプカードの作成周知を

公明党 佐々木 ゆういち

①本区の実情に応じた教育振興基本計画の策定を。

②江戸川区基本構想等で掲げた「未来を担う人づくり」が教育振興基本計画に相当する。

③小中学校で整備が進むICT(情報通信技術)のさらなる利活用について

④通常の教科書では読むことが困難な児童・生徒の特別支援教育にデジジー教科書の導入推進を。

⑤学力向上のため、デジタル教科書の全校配備やICTに対する研修や研究の推進を。

⑥①活用に対する子どもの評価や教職員の使い方が重要であるので、一つひとつ検証しながら進めていきたい。

②教職員が成果を検証した上で、デジタル教材を活用していく。子どもにとって一番いい形を考えて活用していくことが大事である。

⑦町会・自治会会館の耐震化支援と地区会館の整備について

⑧①法人格を取得した町会・自治会の所有会館に対し、耐震診断等の耐震化への支援を。

⑨②地区会館の付帯設備の老朽化が散見される。付帯設備の計画的な整備を。

⑩①町会・自治会会館は地域共有の財産である。耐震化や災害対策等の臨時的な経費は、地域の心意気で行っていただきたい。

⑪②区の所有物であり、計画的に整備している。

⑫障がい者の方などが周囲に理解を求める手段として、都の制度を活用し「ヘルプカード」の作成と周知を。

⑬障がい者の方と相談しながら、一番有効な形を研究していきたい。





江戸川区議会会派別議員一覧

氏名	住所	電話番号	名所
住	話	番	号
当	選	回	数

【◎幹事長 □幹事長代行 ○副幹事長 △幹事】

【会派内の役職・議席番号順】

区議会 自由民主党

15名
直通(5662)5111
<http://www.edogawa-j.org/>



◎福本みつひろ
東葛西8-7-33
3877-0541 ③



□ふじさわ進一
南小岩6-28-11
3658-0783 ③



○須賀精二
江戸川2-8-1
3679-4445 ⑤



△八武崎一郎
新堀1-12-7-101
3678-8213 ⑦



△田島てつたろう
春江町2-41-12
3670-2426 ②



△大西洋平
篠崎町2-1-10-305
5664-2024 ①



齊藤まさたか
北小岩8-24-6
3672-5849 ②



田中寿一
船堀3-1-3
5679-0413 ②



高木ひでたか
一之江3-18-3
5661-4608 ③



早川和江
松本1-10-6
5678-0777 ③



川口としお
南葛西6-13-14
3675-5994 ⑥



島村和成
平井5-51-12
3617-3471 ⑥



田島すすむ
鹿骨4-21-2
3670-7716 ⑥



渡部正明
松島4-20-13
3653-9346 ⑥



片山ともりの
東小岩6-25-14
3650-0687 ⑩

江戸川区議会 公明党

13名
直通(5662)5112
<http://www.e-komei.com/>



◎川瀬やすのり
江戸川1-21-23
5636-5530 ④



○田中じゅん子
上篠崎3-10-11
3677-4973 ④



○中道たかし
大杉1-1-1-703
5607-0835 ②



○関根まみ子
春江町4-18-10-102
3653-7553 ②



○窪田龍一
中葛西2-26-10-1005
3686-1939 ②



佐々木ゆういち
北葛西5-4-15
5605-9262 ①



竹平ちはる
東小岩1-14-6
5876-7376 ①



所たかひろ
新堀1-13-7
3670-0334 ①



太田きみひろ
平井6-32-2
6657-2641 ①



堀江そういち
西小岩2-17-1-603
3658-8597 ②



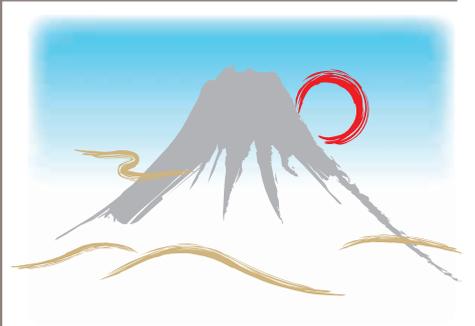
伊藤てる子
中葛西5-2-7-309
6903-7742 ②



うざわ悦子
東葛西6-4-14-501
3686-7461 ③



竹内すすむ
松江3-14-19
3652-6798 ④



民主・ネット

4名
直通(5662)5116



◎えぞえ亮一
南篠崎町5-12-2-803
3677-6622 ②



○新村井玖子
清新町1-1-4-204
3877-6294 ②



△中里省三
東小松川2-11-20
3652-8725 ②



金井茂
北小岩6-16-1-2F
5668-2636 ①

志士の会

1名
直通(5662)2752



◎中津川まさあき
南篠崎町1-22-2
3678-1660 ①



日本共産党 江戸川区議員団

4名
直通(5662)5113
<http://jcpedogawa.jp/>



◎セバタ勇
平井2-25-15-504
3636-3265 ⑧



○小俣のり子
中央2-22-4
3655-4422 ③



大橋みえ子
中葛西8-6-2
5674-3753 ①



間宮由美
松江7-11-7
5661-5051 ④



自民党日本

1名
直通(5662)1993



◎須賀清次
東葛西4-27-13
3688-7001 ④

みんなの党・ 一人の会

3名
直通(5662)0694



◎ふかえ一之
本一色1-28-7
3655-3337 ③



○ます秀行
南葛西7-5-16-B305
6662-7890 ①



△田中けん
中央4-25-14
3248-0888 ⑤

えどがわ 区民ひろば

1名
直通(5662)1207



◎滝沢やすこ
平井2-24-3-103
5609-8111 ②

区議会だより編集委員会

(◎委員長 ○副委員長)

- ◎ 福本みつひろ
- 川瀬やすのり
- えぞえ亮一
- セバタ勇